

## アカデミー拡大委員会

委員長 津 貫 嗣 宝  
 副委員長 岩 元 隆 道  
 委員 岩 満 嵩 介・國 分 葉 月・築 地 史 次  
 長 友 麗 斗・西 隆 弘・堀 之 内 博 樹

【サマリー】

一般社団法人都城青年会議所 2023年度 心躍る人財育成グループ	
アカデミー拡大委員会	
委員長 津貫 嗣宝	
設置背景	<p>1. 3月拡大例会事業                      2022年時点、JCI 都城のメンバー数は43名と減少傾向であり、拡大という課題の解決は急務です。ところが JC の魅力を知らない新入会員に拡大の課題を解決することは厳しい所があります。早期退会の原因はコミュニケーション不足に一因があるため、「退会者抑制」に重きを置き、メンバー間のコミュニケーションの構築を行いながら、アカデミーメンバーに JC の魅力を感じて貰う必要があります。</p> <p>2. 6月アカデミー例会事業                      JC のシステムを知らないアカデミーメンバーは委員長が何をしているかが分からないことが大半であり、共通の意識を持って事業にとり組めてはいない事が多いです。また JC の主軸である所信表明、基本方針に触れる機会があまりないのが現状であり改善する必要があります。</p> <p>3. 10月アカデミー例会事業                      アカデミーメンバーは委員会の活動内容について理解が浅いため、自分の存在価値を見出せなくなった方が早期退会率を高めていると思われます。改善策として自らが内容を理解した事業を構築することで「自己効力感」を高めて貰う必要があります。</p>
設置目的	<p>1. 3月拡大例会事業                      アカデミーメンバーに既存会員との親睦を深めてもらいつつ、JC の魅力を理解してもらうための事業を構築致します。</p> <p>2. 6月アカデミー例会事業                      アカデミーメンバー及び既存会員の役職未経験者に例会作成のスキームを学んでもらう事により共通の目的意識を持ってもらうことを目的とします。</p> <p>3. 10月アカデミー例会事業                      実際にアカデミーメンバーが 6月例会で投票された事業を構築することで、背景と目的を理解しながら運営できるため、自身の貢献度を実感することができることを目的とします。</p>
活動概要	<p>1. 企画する催し物を通じて、アカデミーメンバー及び既存会員のコミュニケーションのキッカケを作り、その後の懇親会にて交流を深めてもらう事を目的とします。</p> <p>2. アカデミーメンバーが理事長所信や基本方針に沿った事業を企画、立案し、コンペ方式で外部審査員に評価してもらいます。</p>

	3. 6月例会にて審査員に評価して頂いた事業の中から、実際に活動する事業を選定して、アカデミーメンバーにより構築を致します。
KGI (目標達成指標)	1. JC 都城内でコミュニケーション不足が原因による退会者0人になる事により、入会者数=会員増員を目指します。 2. 恒常的に例会事業の背景や目的を確認できる機会を設け、委員会の 方針理解度 100%を目指します。 3. 主体的に委員会へと参加するメンバー100%にし JC に魅力あふれる人財が増える事を目指します。
KSF (KGI 達成のポイント・プロセス)	1. アカデミー系の委員会の事業により、アカデミーメンバーのコミュニケーションのキッカケの場を作ります。 2. 例会作成スキームを学ぶことで、JC に対する共通意識を確認させます。 3. 委員会内の自身の役割を確認することで、アカデミーメンバーにも委員会内で必要不可欠な人財になれるようにします。
KPI (KGI 達成のための中間指標)	1. 本年度の JC メンバーの相互認知度 100% 2. アカデミーメンバー及び既存会員が例会作成スキームの理解を 100%、事業構築の楽しさを 100%の取得を目指します。 3. 事業構築により JC 内での「自己効力感」を感じてもらったアカデミーメンバー100%。
S D G s	4: 質の高い教育をみんなに 8: 働きがいも経済成長も 11: 住み続けられるまちづくりを 17: パートナリシップで目標を達成しよう
政策手法	1. 3月拡大例会事業 ①検証方法: 例会の最後にコミュニケーションや認知度についてのアンケートを実施します。 ②手法: OB の対談により JC の魅力を学んで貰った後、アカデミーメンバー及び既存会員で簡単な催し物を実施し、その後に懇親会を致します。 2. 6月アカデミー例会事業 ①検証方法: 例会実施後に例会作成スキームに対する理解度、事業の構築の楽しさについてのアンケートを実施します。 ②手法: アカデミーメンバーに企画、立案して頂いた事業を外部の審査員にコンペ方式で評価して頂きます。 3. 10月アカデミー例会事業 ①検証方法: アカデミーメンバー、既存会員に対して「自己効力感」についてのアンケートを実施します。 ②手法: 6月例会で評価された事業を実際にアカデミーメンバーで構築してもらいます。
パートナー	1. JC 都城シニアクラブ 2. 都城、三股圏域の銀行支店 3. 該当なし

【職務分掌】

1. アカデミー拡大例会の実施
2. 仮入会者への例会等の案内や管理
3. LD アワー
4. 盆地祭りへの協力支援窓口
5. 京都会議への参加企画
6. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
7. 共催事業への協力支援
8. 会員拡大 [最重要]